

多数の日本企業が戦略的パートナー。
資本・業務提携や合弁会社の設立も。
インフラ開発のリーディングカンパニーを
目指す。



Pham Viet Khoa ファン・ヴィエット・コアさん(1973年1月生まれ)

経営塾1期生(2009年9月～2010年8月)

Fecon Corporation Chairman 会長

Before

- ◇ 経営幹部、中級管理職は技術者が多く、経営、人事や販売などの分野で十分な知識と経験、能力を備えた人材が不足して、評価する指標が明確でなかった。
- ◇ 世界的な不況、同業他社のダンピングや汚職をはじめ、外部環境に影響されることが多かった。



Turning Point

- ◇ 経営塾受講中、最も重要な資産は「人材」で、「技術力の向上」が要であること、熱意と優れた決断力は成長に欠かせないと確信した。
- ◇ 経営塾では、理論だけでなく、成功している企業や製造現場の見学、講師や塾生とのディスカッションで、「経営者としてのあり方」、「経営者の覚悟」を学んだ。
- ◇ 5Sとムダ削減は、事務所や工場です直ちに導入した。



After/Success

- ◇ 長期的視野に立ち、ビジョン、目標、指標を改訂した。
- ◇ 日本企業をはじめ、多数の企業が戦略的パートナーとなっている。短期プロジェクトだけでなく、資本・業務提携や合弁会社の設立まで広がっている。
- ◇ 受講時435人だった従業員が2018年1,860人に、売上高も2,453億ベトナムドンから2兆8,455億ベトナムドンへと大きく成長している。

■数多くの日本企業が戦略的パートナー。win-win な関係構築に重要、必要なこと

FECON Corporation(以下、FECON 社)は、2004 年、基礎工学と地下工事分野のエンジニアたち 17 人で設立され、2018 年に、傘下のグループ企業 18 社、従業員数 1,860 人(グループ企業従業員含む)と急成長している。経営塾 1 期生のコア会長は、ベトナムで最も優れたビジネスパーソン 10 人の 1 人として、2014 年レッドスター賞を受賞した。FECON 社は、Vietnam Report Joint Stock Company (Vietnam Report) による、「2019 年最も評判の良い建築業者トップ 10」の 1 社に選ばれている。

「日本企業だけでなく、他企業との長期的な win-win な関係を構築するには、自社の利益のみに固執せず、自社にその関係がもたらす価値とともに、ベトナムローカル企業として、相手に持続的で長期にわたる利益とどのような価値をもたらすかが重要だ」と、コア会長は言う。「約束厳守」、「質の高い十分な準備」は極めて大事で、一定レベル以上の規模があり、上場企業として透明性を担保して国の基準を守っていることもアピールとなっている。

傘下企業の社長は、親会社である FECON 社の取締役会で決めている。社長には、リーダーシップ、会社での影響力、戦略管理能力、人事管理能力、ヒューマンスキル(コミュニケーション、チームワーク)、規律ある態度、決断力が求められる。FECON 社生え抜き(長期勤務者)と外部の両方から人材を求めるが、どちらかというと、生え抜き(長期勤務者)を優先している。最近では、候補者に、3 年間の活動計画を立案してピッチ(プレゼンテーション)してもらっている。「会社で何をしたいのか(どのような課題を解決しようとしているのか)」、「なぜ社長になりたいと思ったのか」、「具体的にどのような計画か」といった、そのコミットメントを表明してもらう。また、ソウルと東京に駐在事務所があり、それぞれコンタクトパーソンが 1 人いて、両国の関係先と直接交渉している。

【日本企業などとの連携、取引例】

内容		連携先	連携年
合弁会社	FECON Miltec JSC	チカミルテック(株)	2011
「戦略的提携契約」締結		日本政策投資銀行傘下の DBJ アジア金融支援センター	2014
合弁会社	Kanamoto FECON Hassyu Construction Equipment Rental JSC	(株)カナモト、Hassyu Vietnam	2015
合弁会社	RAITO FECON Innovative Geotechnical Engineering JSC	ライト工業(株)	2016
「戦略的パートナーシップ協定」締結		中日本高速道路(株)、日本高速道路インターナショナル(株)	2017
合弁会社の設立に向け「協定覚書」締結		日本コンクリート工業(株)、旭コンクリート工業(株)、グローバルワークス(株)など	2018
「協業に関する覚書」締結		国際航業(株)	2018
「資本・業務提携契約」の締結		ライト工業(株)	2019
ホーチミン市都市鉄道 1 号線やギソン火力発電所など大型案件に多数従事			
ホンダ、サムスン電子、BMW など著名な企業と取引			



2011年、チカミルテック(株)との合弁会社
FECON Miltec JSC を設立。
軟弱地盤改良のための国内外の規格に
準拠した産業資材製品を供給している。
(FECON 社ホームページより)



ホーチミン市都市鉄道 1 号線プロジェクトで、
FECON 社は清水建設(株)/前田建設工業(株)の
下でトンネルボーリングマシンを操作する最初
のベトナムの請負業者となった。
(FECON 社ホームページより)

■ビジョンは基礎工事(-2015年)からインフラ開発(-2020年)のリーディングカンパニーに

コア会長が経営塾を受講していた頃は、会社は従業員約 450 人、売上 2,000 億ベトナムドンで、受講後、2010 年-2015 年のビジョンを「ベトナムの基礎工事分野でリーディングカンパニーになる」と策定した。MBA の講座を受講したことがあったが、経営塾で、日本企業の考え方や日本人は会社を設立する段階でビジョンとミッションを決めることを知り、長期的視野の大切さや会社のビジョンとミッションについて改めて考えるようになった。コア会長は、「2009 年当時、多くのベトナム人はお金を稼ぐことだけにこだわり、長期的視野はなかった」、と言う。

そして、2016 年、社名を FECON Underground Engineering and Underground Joint Stock Company から FECON Corporation に変更するとともに、2016 年-2020 年のビジョンを「ベトナムのインフラ開発分野でリーディングカンパニーになる」とした。それまでの成功を活かして、基礎工事以外にも進出したいと考えるようになったのである。インフラ開発の子会社を設立し、日本企業、ベトナム国内の設計会社や建設会社と合弁会社を設立したり、資本や業務の提携をしたりと、組織を大幅に改変し、従業員と資本金も増やした。2020 年以降のビジョンは、現在検討中である。

■5S とムダ削減を実践。5S は思考にも応用して成果

経営塾の講義の一環で、トヨタの工場を見学した。一つの生産工程をいかに良くするか、今の状態が最適か、前工程から引き取りを待つ人はいないか、いたらどうするか、ムダをいかに削減するか、日本人専門家は本当に細かく、詳しく無駄を指摘して、改善策を教えてくれたのが印象的だった。恐らく、あそこまではベトナム人では教えられないのではないかと思った。

5S とムダ削減は、さっそく事務所や工場で導入した。QC 活動による品質管理の強化や労働生産性の向上、廃棄物を最小限に抑えてコストを削減するなど大きな成果があった。また、5S は物理的な整理整頓だけでなく、考え方にも応用でき、とても意義深い。各期にわたって経営塾で学んだ FECON 社の経営幹部も、日本式経営を身に付けて、会社の日々のカイゼン活動や 5S に参加し成果を上げている。

日本企業は、たゆまなくカイゼン、イノベーションを実施し、会社に積極的なエネルギーを生み出す源になっているのではないか。毎日の実務では様々なストレスが発生するが、そんな時は、経営塾で日本人講師が紹介した、松下幸之助パナソニック(株)創業者が記した『日に新た』を思い出す。「今日は、昨日のままであってはならない。そして、明日は、今日のままであってはならない。万物は、日に新た。人の営みもまた、天地とともに、日に新たにしなければならない。憂きことの感慨はしばしにとどめ、去りし日の喜びは、これをさらに大きな喜びに変えよう。立ち止まってはならない」。「明日を今日より良き日にという積極的な思考にすると、より前向きに挑戦できる」、とコア会長は言う。

■研究開発と人材育成が、成長するための要

組織が大きくなると、様々なコストが膨大となり、意思決定までの時間が長くなってしまう。大企業病にならず、さらに成長するためには、「技術と人材への投資」がキーポイントだと考えている。経営塾では、日本式経営を座学で学ぶだけでなく、成功している企業の生産現場を見学し、また、そのコミュニティはとても有意義なので、グループ企業も含めて数多くの経営幹部を続けて受講させている。第5期のTran Thi Ai Vanさんは、現在、経営塾クラブ国際協力部会の部会長として、フォローアップセミナーへの参画、日本や他国の日本センターからの企業とのネットワーキング強化など幅広く経営塾クラブ活動に協力している。

経営塾を受講した10年前には、大学のMBAコースはあったが、現場と密接で実践的な課程はなかった。経営に関する基本的な理論、経営戦略、マーケティングと販売、人事管理、人材募集、生産管理、品質管理と網羅していて、本当に企業経営に役立つ内容である。当時のベトナムではまだ新しかった、KPI やバランススコアカードを学び、目標達成率の比較を理解できるようになった。現在、事務部門では、KPI70%、ソフトスキル 30%で評価している。経営塾同期に手伝ってもらって、最初はトライアルとして小規模で実施したが、KPI に不満がある人は自ら退職するなど紆余曲折を経て、KPI を着実に実施できるまで2年かかった。

現在のビジョン、「ベトナムのインフラ開発分野でリーディングカンパニーになる」を達成するには、どのような組織が必要か、どのような人材を求めるのか、そして、外部から補充するのか、内部で育成するのか明確に決めている。これまで、より良い人を採用するチャンスを逃して、適切でない人を採用するなど、失敗は数多い。給与や福利厚生だけではなく、良い職場環境(正直、誠実、セクショナリズムがない組織)であることを心掛けている。本人の能力に合わせて仕事を与えて指標に基づいて評価し、もしその仕事に合わない場合、本人と十分話し合った上で他の仕事に異動させている。それでも業績が達成されない場合、解雇の検討もせざるを得ない。人材育成センターを一年前に立ち上げたが、実際の始動は最近で、これから本格的に取り組んでいく。短期コースの講義と技能検定を予定していて、企業文化の継承も行っていく。日本式経営に基づく、コミュニケーションスキルやビジネスマナーもここで磨く。修士・博士修了者含め、大学卒以上が約57%を占めるが、学歴ではなく、実務と試験をして能力で評価して給与に反映させている。

2008年のリーマンショックによる景気停滞で売り上げが落ち込み、ようやく2012年成長に転じたものの、新政権の慎重な政策発表が悪影響して2017年、2018年また停滞した。人材や資金の不

足を何度も経験した。困難な時ほど長期的視野が必要で、償却期間を15年ではなく20年にする、適切なマーケティング戦略取り組むなど、色々なことをして乗り越えてきた。

2012年の株式上場後は、毎年増資している。増資のおかげで、人材や設備、機械を充実させて利益と売り上げは拡大基調であるが、コーポレートガバナンス、人材の流出や職場の安全といったリスクマネジメントが特に重要になってきている。傘下のグループ企業は、プロジェクトごとにリスクマネジメントを行い、親会社であるFECON社にはリスクマネジメント委員会を設置している。優先順位を決めて、上位のリスクを優先している。

以前は研究所で、研究開発、調査、モニタリングを実施していたが、現在は、研究開発はそれぞれの会社にある技術部が担っている。プロジェクトベースで研究開発チームを設置して、対象となる部署から人材を集める。新技術を開発するというよりは、海外の技術導入や高額な機材購入時に、海外やベトナム国内を調べてFECON社にふさわしい技術や機材の選定を担当している。

親会社であるFECON社には「科学技術評議会」があり、研究開発の役割を果たしている。コア会長の経営塾修了後はカイゼンコンテストを毎年実施し、前年優勝した案を今年実施し、翌年講評するという流れである。カイゼン活動以外では、毎年、科学技術ワークショップ、勉強会を年に2回実施して、研究開発を担う技術者が全員、自分の部署でどのような成果を上げたかを発表する。

経営塾で学んだ日本式経営は、考え、認識の転換をもたらした。日本人講師から教わった、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」も、「謙虚である」ことの重要性を表す例えである。会社も発展すればするほど、威張らず、謙虚な姿勢で人と接することが大切であり、自らを厳しく律しなければならぬと考えている。

Fecon Mining joint Stock Company

10年間で700項目をカイゼン。
経営塾クラブや同期会の活動で課題
を共有し、お互いサポートしあう。



Pham Trung Thanh ファム・チュン・タインさん(1977年11月生まれ)
経営塾3期(2011年10月～2012年8月)
FECON Mining Joint Stock Company Director 社長 (写真右)

Cao Van Thai カオ・ヴァン・タインさん(1982年6月生まれ)
経営塾10期生(ハノイ)(2017年10月～2018年8月)
FECON Mining Joint Stock Company Vice Director 副社長 (写真左)

Before

- ◇ 短期で学んだ知識はバラバラで、部分的にしか理解できていなかった。
- ◇ 冠婚葬祭や収穫期に同時に4、5人休むなど、農業から工場で働くことへの転換に苦労していた。



Turning Point

- ◇ 経営塾を受講して、経営全体を流れでトータルに理解出来た。
- ◇ 受講をきっかけに、能力とカイゼン活動は無制限、カイゼンを一度失敗しても、続けていけばいずれ出来るようになるようになり、学んだことを部下に伝え、自分だけでなく、皆でカイゼン活動に取り組むようになった。



After/Success

- ◇ 10年間で700項目をカイゼンした。テーマを毎年策定して取り組んでいる。
- ◇ ルールや内規を整備し、5S、カイゼン活動と給与とを紐づけている。従業員のモチベーション、製品や会社に対する信頼性を高めることに繋がっている。
- ◇ 経営塾クラブや同期会の活動で課題を共有し、お互いサポートしあっている。
- ◇ 中間管理職が会社のルールを把握して新人教育をOJTで行い、規律を守るようになっている。

■経営塾を受講して、経営を流れてトータルに理解できるようになった

FECON Mining Joint Stock Company (以下、FECON Mining 社)は、FECONグループの一社として2007年に設立され、主な事業は、プレストレスト高強度コンクリートパイプ(PHC 杭)生産、鉱産物の開拓、建設資材の販売、建設である。2013年、ホーチミン市証券取引所に上場した。本社・工場の所在地であるハナム省は、省産石灰岩などを利用したセメント、石材他建築資材産業が集積し、ハノイやハイフォンへのアクセス向上と省自身による産業振興により、外資系企業誘致が活発となっている。

タイン社長が経営塾を受講する前、自分も含めて経営幹部や管理職が、VJCCの短期の生産管理と人材開発の研修コースを受講し、5Sとカイゼン活動は工場で行われていた。しかし、タイン社長は、「学んだ知識はバラバラで、部分的にしか理解できていなかった。経営塾を受講して、全体を流れてトータルに理解出来た。そして、FECON社の戦略や方針である『人が一番大事。まず人に投資し、

その後モノに投資する』が腑に落ちた」と言う。タイン社長が受講中に、ビジョン、ミッション、経営方針の策定から始め、実行するための工程管理の方法や管理ツールを見学した日系企業などから学んで取り入れた。



撮影日:2019年6月12日

■10年間で700項目をカイゼン。テーマを毎年策定してカイゼンに取り組む

経営塾や研修で学んだことを活かして、「安全、安心、品質、効率、職場環境」をキーワードに、この10年間で700項目をカイゼンし、会社全体で効率アップを達成している。例えば、パイプの金型製造での1シフトは、2009～2010年頃は53人で金型60～70個だったが、現在2019年では32～33人で160～170個と、人数を削減しても製造数は増えて効率化を達成し、さらに不良率も、0.9～1%だったのが0.2%となっている。

また、職場の見える化に取り組んでいる。2013～2014年頃に品質管理を強化し、信号(赤、緑。右写真:2019年6月12日撮影)を設置し、場合によっては、音で注意喚起し、表やプロセス図も利用するようになった。700項目もそうだが、技術者を中心にアイデアから設計、製造、設置、運営まで全て自分たちで研究して実践している。なお、製造は外部に発注することもある。

最初はヤル気満々でカイゼン活動を始めますが、継続は難しい。意識改革が必要で、強制から始めても、自主的に従業員自らが問題意識をもって、持続的に努力するしかない。ルールや内規を

作成して、5S、カイゼン活動と給与とを紐づけている。生産性と評価は直結しているので、品質と



効率に成果ができれば、給与も高くなる。5S とカイゼン活動は、製品、会社に対する信頼性を高めることに繋がっている。

日系企業は厳しい取引先の一つで、厳しい取引先に感謝している。厳しい要求を満たすために、グループ全体で努力しなければならないからだ。また、ベトナム政府の方針は「持続可能な長期的発展」であり、FECON Mining 社は環境基準を達成するだけでなく、技術的にも向上するために、毎年テーマを設定してカイゼン活動を行っている。今年 2019 年は、環境負荷の削減に取り組んでいる。石炭からバイオマスへボイラーの燃料変更による CO2 削減、コンクリートの強度を高めるための排水量削減、コンクリートの柱が固まる時間削減、である。年末に一年間のカイゼン結果を振り返り、翌年のテーマを取締役会で決裁し、研究開発部(品質管理部に所属)が研究して全社で展開している。

■経営塾クラブや同期会の活動で課題を共有し、お互いサポートしあう

タイ副社長は最初の戸田長作講師の講義でモチベーションがアップし、価値観が変わった。以後の講義の理解が進み、パナソニックベトナム社での日本式ものづくりの実践でも学ぶことが多かった。受講後は、能力とカイゼン活動は無制限である、カイゼンを一度失敗しても、二度、三度と続けていけばいずれ出来ると考え、学んだことを部下に伝えて、自分だけでなく、皆でカイゼン活動に取り組もうとするようになった。

当初は生産管理しか念頭になかったが、山崎京子講師による「人事戦略」を受講後は、コミュニケーションの重要性を認識して、人事制度を改革した。また、本邦研修で訪問した株式会社 ISOWA では、社長が「人を大切にしている」ことが伝わり、実際にどのように評価しているかを見て、自分たちが学んできたことと日本企業の実践が同じであることを実感できた。企業文化の重要性を、社長の経験談を踏まえて教えていただいたのが印象に残っている。

経営塾クラブで毎月セミナーを実施して課題や参考資料を共有したり、メンバー企業を訪問したりして、お互いサポートしあうことはとても良いことである。先日、10 期生で同窓会を開催したが、単なる懇親ではなく、経営塾で学んだ知識をどのように適用しているか、何が課題かを議論する時間を設けた。他の研修では知識を得るだけだが、経営塾では、知識を実践するためのアドバイスを受けることが出来る。なぜこのようなことが出来るかというと、やはり、講師からモチベーションを与えられたからだと思う。

■コアバリューは親会社と同様、従業員に浸透。企業文化の醸成に努めている

FECON 社の戦略、ビジョン、方針に基づいて、傘下企業各社ごとに、それらを策定している。ISO9001:2015 に沿って生産プロセスで具現化し、全部門で展開している。FECON 社に毎月報告し、傘下企業の全社長が、年に 2 回(6 月末と年末)集まってミーティングを実施している。グループ全体の戦略を傘下企業の末端の従業員まで徹底させるのは難しいが、集まる機会があれば、繰り返し振り返り、コアバリュー(中核的価値)である、「自己研鑽-ポジティブであること、責任-プロ意識を持つこと、誠実さ-正直であること、情熱-果敢であること、合意-協働すること」は、共有されている。

スタッフ、ワーカーレベルはほとんど周辺から採用し、中学校卒で元農民が多く、知識を実務に適用し自律して働くことは簡単ではない。会社設立から3~4年は、冠婚葬祭や収穫期に同時に4、5人休むなど、農業から工場で働くことへの転換が大変だった。現在は、管理職が新人教育をOJTで行い、会社のルールや規律を守るようになっている。

会社設立当時の管理職はFECON社から派遣されたが、現在は、FECON社の採用プロセスに準拠してFECON Mining社で採用し、ほとんど離職していない。事務スタッフ、ワーカーの離職率は2~3%/年である。給与は周りと比べれば高く収入が安定し、福利厚生は法令に従った上で、旅行や誕生日会、病気への配慮など、チームワークの強化や精神的ケアを積極的に行っている。企業文化の醸成に努め、面接時にビジョンとミッションを説明して長期勤務を求めていることを伝えている。

■従業員が自律して生産、コンクリート杭分野でベトナム北部のトップ企業を目指す

ISO 認証取得前は生産プロセスが確定しておらず、品質と効率が安定していなかった。プロセスごとに徹底的にチェックすることから始めた。生産管理では「人材」と「プロセス」が重要と考えているので、管理職を育成してスタッフに指導する体制を整備している。プロセスごとに責任者を決めて、全工程と全体の品質に全員が責任を持つようにし、自律分散型生産システムを目指している。以前は品質管理に2人必要だったが、段階ごとに責任者を決めて権限を与えると、1人に削減しても品質は高くなった。プロセスに責任を持つシフト長(係長)以上は、約30人である。

5Sはある程度成果を出しているが、日本で見学した企業ほどは達成できていない。スタッフの意識を変えるのは難しく、努力して着実に継続していくしかない。カイゼンすべきことは無制限にある。複雑でない製品については、丁寧に教育すれば1週間くらいでできるようになるので、プロセスを分けて、簡単な仕事は事務スタッフ、ワーカーに任せている。難しい業務には、ハイレベルな人を採用して、OJTで丁寧に指導している。試用期間は1週間~1ヵ月だが、その間で仕事を理解している。

アジアパイルホールディングス株式会社(東証第一部上場)ベトナム事業子会社のPhan Vu Investment CorporationがFECON Mining社の株式51.0%を昨年2018年取得し、FECON Mining社は、新たな成長局面を迎えている。Phan Vu Investment CorporationとFECON社両社の優れているところを引き継ぎ、ベトナム北部のコンクリート杭製造販売分野でトップ企業になることを目指している。

【企業データ】

社名● Công ty cổ phần FECON

社名(英語)● FECON Corporation

業務内容● 地質調査、地盤処理、地下工事設計・施工、
プレストレスト高強度コンクリートパイル(PHC 杭)製造・施工

設立● 2004 年

本社● 15th Floor CEO Tower , Lot HH2-1 Urban Me Tri Ha, Pham Hung Street, Ward Me Tri,
Nam Tu Liem District, Hanoi

TEL: (+84) 462690481 FAX: (+84) 462690484

海外駐在事務所● 東京、ソウル

グループ会社● 18 社

社員数● 1.860 人 (グループ会社含む。会社設立時 17 人)

資本金● 9,434.5 億ベトナムドン

売上高(2018)● 2 兆 8,460 億ベトナムドン

株式上場日(ホーチミン証券取引所)●2012 年 07 月。株式コード:FCN

ホームページ● <http://fecon.com.vn>

問合せ e-mail アドレス● info@fecon.com.vn



企業理念

[ビジョン]

VISION2020: FECON は、ベトナムのインフラ開発におけるリーディンググループを目指す。

[ミッション]

研究開発を促進し、基盤技術、地下建設及びインフラ開発に先端的な技術を導入して、最適な経済的、技術的解決策をもたらすことにより、顧客及びパートナーの利益を最大化し、国の持続可能な開発に寄与する。

[コアバリュー(中核的価値)]

自己研鑽-ポジティブであること、責任-プロ意識を持つこと、誠実さ-正直であること、
情熱-果敢であること、合意-協働すること

財務状況

■2018 年次報告書

<https://fecon.com.vn/wp-content/uploads/2019/04/BCTN-2018-FINAL.pdf>

■損益計算書 [単位:百万ベトナムドン]

	売上高	税引き後利益
2009 年	245,308	33,678
2010 年	358,751	51,635
2011 年	913,908	96,310
2012 年	1,007,994	100,103
2013 年	1,204,726	116,860
2014 年	1,353,969	135,212
2015 年	1,660,553	154,612
2016 年	2,107,793	175,682
2017 年	2,320,192	177,553
2018 年	2,845,546	248,699

■Vietstock

<https://finance.vietstock.vn/FCN-fecon-corporation.htm?tab=BCTN>

【企業データ】

社名● Công ty cổ phần khoáng sản FECON

社名(英語)● FECON Mining Joint Stock Company

業務内容● プレストレスト高強度コンクリートパイプ(PHC 杭)
生産、鉱産物の開拓、建設資材の販売、建設

設立● 2007 年

本社・工場● Thi Son industrial zone, Thi Son, Kim Bang District, Ha Nam province

TEL: (+84) 226 353 3038 FAX: (+84) 226 353 3897

82,000m²

社員数● 290 人(会社設立時 120 人)

資本金● 4,100 億ベトナムドン

売上高(2018)● 8,841.87 億ベトナムドン

株式上場日(ホーチミン証券取引所)● 2013 年 5 月。株式コード:FCM

世界標準、規格● ISO 9001: 2015

ホームページ● www.feconmining.com.vn

問合せ e-mail アドレス● info@feconmining.com.vn



企業理念

[ビジョン]

鉱業分野のリーディングカンパニーになる。鉱物処理とプレストレスト高強度コンクリートパイプ(PHC 杭)製品を供給して、インフラ構築に取り組み、国の近代産業育成に寄与する。

[ミッション]

当社は顧客満足を最も重要視し、常に最大限の付加価値を顧客に提供するために、絶えず製品とサービスの品質を改善することに最善を尽くす。

財務状況

■ 損益計算書 [単位:百万ベトナムドン(VND)]

	売上高	税引き後利益
2015 年	526,724	23,684
2016 年	692,486	40,917
2017 年	778,920	30,272
2018 年	884,187	36,712

■ Vietstock

<https://finance.vietstock.vn/FCM-fecon-mining-joint-stock-company.htm?tab=BCTN>